

七飯町公共施設等総合管理計画 ー 概要版 ー

この計画は、七飯町（以下、本町）の公共施設等（建物・インフラ資産）の数量・老朽化の現状分析や今後の維持コスト等を試算し、必要となる施設の管理や再整備の方針といった総体的な内容を検討するもので、以下の5章から構成されます。

1. 計画策定の背景と目的

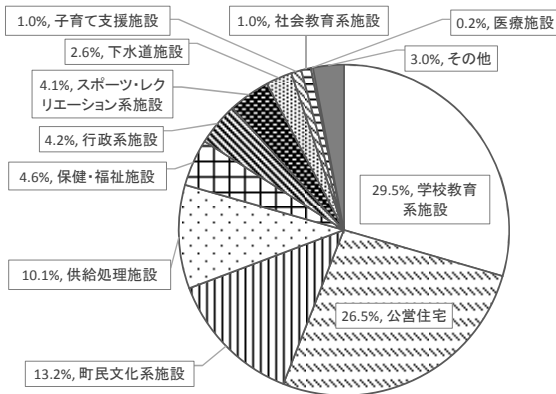
- ◇これまで整備してきた公共施設等が今後一斉的に改修・更新時期を迎え多額なコストが見込まれている
- ◇一方、少子高齢化の進展や人口減少も想定されている中で財政事情も今後非常に厳しくなる
- ◇これらの状況を踏まえ、公共施設等のあり方の検討をしていくもの
- ◇本町特有のものではなく全国的に共通する課題で、国からも計画策定を（実質）義務付けている

2. 本町の現状

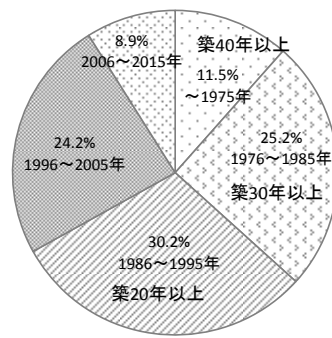
- ◇人口はH22年の28,463人をピークに減少局面に入り、H52年には約23,600人と推計される
- ◇財政状況は、H26年度までは将来負担や公債費に係る指標が改善されてきたが、大型建設事業実施に係り今後は悪化が見込まれる

3. 公共施設・インフラ資産の現状と課題

- ◇公共施設（建物）は現在141施設を保有しており、総面積は約15万3千㎡
- ◇その内訳として、学校施設・公営住宅が圧倒的に多く、この2つで約56%の面積を占める
- ◇築年別では30年以上経過の施設が約37%、20年以上となると約67%となり全体の2/3
- ◇耐震化の状況としては、全体の約2割弱が耐震基準未滿が耐震化不明の施設となっている
- ◇インフラ資産とは、道路・橋りょう・上下水道・公園からなり現在の数量は表のとおり



↑ 公共施設の状況



↑

資産	分類	延長 m	面積 ㎡
道路	1級(幹線)町道	54,855	438,129
	2級(幹線)町道	34,784	238,491
	その他の町道	208,476	1,252,989
橋りょう		1,054	7,241
上水道	管路	190,558	—
下水道	管路	146,393	—
公園	都市公園等	—	106,707

↑ インフラ資産の状況

4. 更新費用の算定

- ◇試算ソフトにより一定条件の下、全ての公共施設・インフラ資産を保有するとした場合、今後20年間で更新・維持費用が約364億円、年平均18億円となり、現在の3倍のコストとなる試算となった

5. 公共施設等の総合的・計画的な管理

◇管理に関する考え方

- ①多額の費用となる大規模修繕・更新をできる限り回避するため、定期的な点検・診断等に努め施設維持のトータルコストやライフサイクルコストの低減を図る
- ②施設利用上、安全確保・耐震化も軽視できないことから引き続き計画的な対応を検討し取組む
- ③施設設置の経緯や地域性を踏まえ将来的な必要性を見極めたうえで適正な配置・規模となるよう統合や廃止といった施設の見直しを行う

◇計画推進に関する考え方

- ①計画期間はH28～37年度の10年間
- ②取組体制は行政改革推進本部に公共施設マネジメントのP Tを設置し、計画の進行管理や見直しを図りながら取組む
- ③取組状況を全庁的に情報共有することで施設のあり方について職員の意識改革を促す